

## 第3章 基本目標と施策の基本的方向

### 第1節 基本目標

「県民誰もが輝き、安全・安心で豊かさを実感できる  
人間中心のデジタル社会の実現」

第4次産業革命と言われる革新的なデジタル技術の進展は、社会全体に大きな変革をもたらすものであり、様々な社会課題を解決し、新たな付加価値を生むものとして期待されています。

このようなデジタル化の流れを、本県が更に飛躍するための好機として捉えることが重要です。デジタル化を推進することにより、人口減少社会において山積する様々な課題に的確に対応し、将来にわたって持続可能な宮崎づくりに向けた新たな展開を図っていく必要があります。

このため、宮崎県総合計画において描いている将来像を見据え、デジタル改革を進めることにより、県民の生活がより安全・安心でより豊かなものへと大きく変わるデジタル社会の実現を目指します。

また、デジタル化は手段であって目的ではないことや、私たちの活動の全てがデジタルで代替できるものではないことに十分留意し、目的と手段を混同しないように取り組むことが重要です。あくまでも人間尊重を基本とし、誰一人取り残されることなく、デジタル化の恩恵を実感できる人に優しい人間中心の社会の実現を目指します。

具体的には、第2節の施策の基本的方向により、社会全体のデジタル改革(DX)を進めていきます。

#### 【宮崎県総合計画「未来みやざき創造プラン」における目指す将来像】

- 一人ひとりが生き生きと活躍できる社会
- 安全・安心で心ゆたかに暮らしを楽しめる社会
- 力強い産業と魅力ある仕事があり、安心して働ける社会

## 第2節 施策の基本的方向

### 1 「行政」が変わる

#### ～県民本位のデジタル・ガバメント<sup>28</sup>の推進～

人口減少が深刻化する中、自治体が住民生活に不可欠な行政サービスを提供し続けるためには、職員が企画立案業務や住民への直接的なサービス提供など、職員でなければならない業務に注力できるような環境を構築する必要があります。

また、今回の新型コロナウイルス感染症の拡大により、官民を通じたデジタル化の遅れが顕在化したところであり、特に行政分野において早急な対応が求められています。

こうしたことから、住民の利便性の向上、行政の効率化、感染症の拡大防止を図るため、デジタル3原則（デジタルファースト、ワンスオンリー、コネクテッド・ワンストップ）を踏まえ、情報発信の充実強化や手続のオンライン化を推進するなど、県民目線に立った行政のデジタル化に積極的に取り組みます。

### 2 「暮らし」「地域産業」が変わる

#### ～安全・安心で心豊かな暮らしの確保と付加価値の高い産業の振興～

確実に進む少子高齢化に伴う人口減少の中で、本県が持続可能な社会を築きあげていくためには、これまで人が担っていた定型作業等をICTを活用し自動化することにより人手不足の解消を図るとともに、遠隔教育など、地理的・時間的制約の克服による新サービスの創出等を図る必要があります。

---

<sup>28</sup>デジタル・ガバメント：デジタル技術の徹底活用と、官民協働を軸として、全体最適を妨げる行政機関の縦割りや、国と地方、官と民という枠を超えて行政サービスを見直すことにより、行政の在り方そのものを変革していくこと。サービス、プラットフォーム、ガバナンスといった電子行政に関するすべてのレイヤーがデジタル社会に対応した形に変革される状態を指す。

また、AI や IoT などの先端 ICT の利活用は、私たちの暮らしやあらゆる産業において革新的な変化をもたらすとされており、本県でも先駆的な取組が求められます。

さらに、地方回帰等の価値観の変化をチャンスと捉え、ワーケーション等の推進による関係人口等の創出・拡大を図っていく必要があります。このため、私たちの生活や産業におけるICTの利活用を一層支援することにより、暮らしの向上や地域産業の振興を図ります。

### 3 「情報基盤」「人材」が変わる ～デジタル社会を支える情報環境の整備・充実～

デジタル社会においては、AI や IoT 等の先端 ICT の利活用が進み、高速・大容量の情報通信環境が必要となります。特に、光ファイバや第5世代移動通信システム（5G）といった超高速ブロードバンドの重要性が飛躍的に高まるものと言われていますが、概ね整備が完了した光ファイバに対し、5G はこれから整備が進められることから、国や携帯電話事業者などと連携して早期の基地局整備を促進します。

また、暮らしや仕事のあらゆる場面で ICT が浸透する中で、県民誰もがデジタル社会の便益を享受するためには、情報や ICT を利活用する能力の向上が重要になります。そのため、次代を担う人材の育成や県民それぞれの立場に応じた ICT リテラシー<sup>29</sup>の向上に取り組めます。

---

<sup>29</sup>ICT リテラシー：ICT を正しく適切に利用、活用できる能力のこと。